

## ～進化した、伝統のうまさ～

# 「キリンラガービール」、10年ぶりにリニューアル ～ビールに関心が集まる酒税改正期に、「本格ビール」のうまさを提案～

キリンビール株式会社（社長 布施孝之）は、キリン伝統のうまさの本格ビール「キリンラガービール」を10年ぶりにリニューアルして、7月中旬製造品から順次切り替え※1ます。

※1 缶商品は7月中旬製造品から、びん・樽商品は9月上旬製造品から順次切り替え

「キリンラガービール」は、まだ日本でビールが広く普及していなかった1888（明治21）年に、キリンビールの前身であるジャパン・ブルワリー・カンパニー（1885～1907年）から「キリンビール」というブランドで発売されました。ビールの本場ドイツから設備を取り寄せ、ドイツ人醸造技師を招き、本格ビールを目指して醸造を行い、「キリンラガービール」に名称が変わって今日に至るまで、130年以上飲み継がれてきました。「キリンラガービール」は、醸造技術を磨き、最良の品質をお届けしてきた、キリンビールのものづくりの原点です。

今回のリニューアルでは、「キリンラガービール」の特長であるホップの効いた本格ビールの飲みごたえ・苦味はそのままに、「ホップ」と「仕込工程」の見直しによって、苦味の「質」を高め、よりバランスのとれた飲み飽きないうまさを実現しました。

酒税改正によってビールへの関心が高まりつつあり、ビールカテゴリーの伸長が期待されます。また新型コロナウイルス影響下で家庭内での飲食機会が増加する中、普段よりも質の高いものを取り入れて食事を充実する動きも見られます。当社は、「おいしさ」で好調の一番搾りブランドに注力しながら、「本格感」「品質」を支持いただき、長年飲み継がれてきた定番ブランド「キリンラガービール」のリニューアルを行うことで、お客様ニーズに応え、ビールカテゴリーの活性化を目指します。

### 「キリンラガービール」リニューアル概要

#### ● 中味について

- ・“爽やかな香り”と苦味が特長のドイツ産ヘルスブルッカーホップを使用することで実現する、飲みごたえと締めのある後味。
- ・キリンラガーらしい飲みごたえ・苦味はそのままに、酸味や雑味が出た印象を抑えることで、よりバランスのとれた飲み飽きないうまさへと進化

#### 【リニューアルのポイント】

##### ① ホップを増量

キリンラガーらしいホップの効いた飲みごたえと心地よい苦味を実現するために、ホップの使用量を増やしました。

##### ② ホップ配合を調整

バランスのとれた味わいを実現するために、苦味・渋味の強いホップの比率を減らし、穏やかな苦味をもたらすホップの比率を増やしました。

##### ③ 仕込工程の最適化

飲み飽きない味わいを向上させるために仕込工程で酸味を抑える工夫を施しました。

#### ● パッケージについて

- ・伝統的なデザインを引き継ぎながら、「本格感」「品質感」を強化したデザインにブラッシュアップ。
- ・10年前のリニューアルに引き続き、日本を代表するクリエイティブディレクター 佐藤可士和（さとうかしわ）さんによるデザイン



## ■「キリンラガービール」は、キリンの醸造家にとっての原点

マスターブリューワー 田山 智広

「キリンラガービール」はキリンビールの原点です。

130年以上にわたり、ラガーにこだわり、ラガーのおいしさを追求してきたことが、キリンビールの歴史そのものだと言えます。「ラガーのおいしさがわかり、おいしいラガーがつかれるようになれば一人前」、そう言われて入社以来ずっとラガーと真摯に向き合ってきましたが、今でもおいしいラガーをつくるのが一番難しいと心底思っています。

そんな「キリンラガービール」を今回、10年ぶりにリニューアルします。ビールの魂でもあるホップにこだわってきたラガーだからこそ、上質な苦味と香りに一層磨きをかけ、ラガー好きを唸らせるうまさ一段と進化しました。



## ■ 伝統のうまさを引き継ぎつつ進化させるプレッシャー

マーケティング部 商品開発研究所中味開発グループ 山口 景平<sup>かげなり</sup>

キリン伝統のビールの10年ぶりのリニューアルということで、平成生まれの私には大きなプレッシャーでしたが、お客様が「キリンラガービール」に求める価値を調査していく過程で、この商品がお客様から深く愛されているブランドであることを再認識し、より大きなプレッシャーを感じました。

私たちは、「キリンラガービール」ファンの皆様が、ラガーのどの部分が好きなのか、どうしたらその魅力をもっと多くのお客様にも感じて貰えるのか悩みながら試作を重ねました。

悩んだ先に辿り着いたのはラガーの特長のひとつである苦味の質です。コクや飲みごたえ、苦味の強さは弱めることなく、爽やかで心地良い苦味を追求するため、さまざまなホップの使用方法を検討しました。その結果、お客様に自信をもってお届けできるラガーに仕上がったと思っています。伝統を引き継ぎつつ、おいしく進化したラガーを、ぜひお楽しみください。



キリングroupは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

## 記

1. 商品名	「キリンラガービール」
2. 発売地域	全国
3. 発売日	2020年7月中旬製造品より順次切り替え
4. 容量・容器	350ml 缶、500ml 缶、大びん、中びん、小びん、7L 樽、15L 樽、20L 樽
5. 価格	オープン価格
6. アルコール分	5%
7. 酒税法上の区分	ビール
8. 販売予定数	約730万ケース(92,000KL) ※大びん換算
9. 製造工場	キリンビール北海道千歳工場、仙台工場、取手工場、横浜工場、名古屋工場、神戸工場、岡山工場、福岡工場(8工場)

以上